

# BUSINESSフィールド



(株) さんまつ  
三松

## ウエート増す「少ロット製造代行サービス」 新たな挑戦—家具・雑貨ブランド「金属王」



### 分野を広げるシートメタル加工 生産設備にも常に新技術導入

1972年の創業以来、シートメタル（薄物板金）を中心に加工メーカーとして事業を展開してきた三松。このシートメタル加工とは鉄とステンレス、あるいはアルミ、チタン、銅などといった非鉄金属でできた板金を切ったり、曲げたり、また溶接をしたり、塗装をしたりして、各種の箱を作るのを主としたもので、創業当時はたばこの葉の乾燥機を手がけていた。

これが年月を重ねるごとに様々な分野へと広がり、現在では精密加工機械部品やIC関連装置、建築部品、食品機械・厨房機器、さらには医療機械、通信インフラ設備、電子部品、他には車両部品、事務用機器、農林水産機械など、多岐に渡っている。

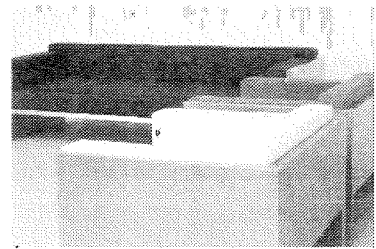
こうした業容の拡大にあわせ、生産設備にも常に新しい技術を導入、今年に入ってから新型の切削機械（マシニングセンター）や大型レーザー加工機を導入した。切削機械の導入により、高精度カメラを使った品質検査装置を開発、自動車部品・半導体工場の検査用に納品する計画。大型レーザー加工機の導入では、加工速度・性能が大幅にアップ、半導体製造装置の部品や新幹線「のぞみ」の空調ダクト・電線ケーブルをそれぞれ増産している。

さらに着実な歩みの中で、開発・設計から加工、溶接・塗装、組立までの一貫した生産体制を確立。これにより「少ロット製造代行サービス」が可能となり、近年そのウエートが年々増している。

「いわばメーカーさんの九州工場的な役割」（安岡貞勝社長）を果たしており、1～数千個の少ロット製造代行で月間約10万部品にも上る試作品や中量品などのオーダーに対応、顧客のアイデアを形にするのを低コスト・低価格で実現している。

### 生活の中の金属の可能性表現 福岡に続き東京で展示会開催

一方で、その高度な金属加工技術力を生かし、「直接消費者とかかわりを持つマーケット・インの発想で



生活の中の金属商品ブランド開発に挑戦した」（田名部徹朗常務）のが、金属を素材として開発、立ち上げた家具・雑貨ブランドの「金属王」。

福岡のデザイナー集団とコラボレーションし、ソファなどの家具からペン立てなどのステーションナリー、照明器具などのインテリア雑貨まで、金属の可能性を表現。

福岡で開催した展示会が新鮮な驚きを与え好評だったことから、来年には東京での開催も予定している。

### 株式会社 三松

業種：金属部品加工及び各種装置組立業  
代表者：安岡 貞勝  
設立：1972(昭和47)年3月  
住所：福岡県筑紫野市岡田 3-10-9  
電話：092-926-4711  
売上高：21.7億円(2007年6月期)  
社員数：142名